

第68号 2019年 8月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360

(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切に 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
介護医療院と在宅事業部との連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



神山復生会のこれから



事務部長 森田秀一郎

当法人は、平成29年4月に「小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家」及び「訪問看護ステーションマリア」を開設しました。今年4月には更に「医療療養病床40床」を「介護医療院40床」に転換し、在宅医療・介護の充実を目指しています。在宅部門の立ち上げにより、往診、訪問診療の件数も増加し、在宅での看取りの件数も増えてきました。このような動きからも今後益々、在宅医療のニーズが高まると予測されます。そこで復生会としては、そのニーズにお応えできるようにと新たな事業展開も模索しています。

「介護医療院」につきましては、今回の紙面に介護支援専門員による詳しい記事を掲載していますのでそちらをご覧ください。また、平成14年より稼働していますホスピス病棟においても、復生会らしい医療を提供させていただいており、患者様やご家族様には喜んでいただけているようです。困っている方のお役に立てることが、復生会にとっては、何よりうれしいことだと感じています。今後も職員全員が協力し合い、在宅医療・介護とホスピスカを充実させ、地域包括ケアシステムの構築と地域医療に貢献していきたいと思ひます。ご意見、ご質問がありましたら、お気軽にお声掛け下さい。敷地内では、今、ねむの木の花が咲いています。当法人の敷地内は、四季折々の自然を楽しむことができますので、皆様どうぞお立ち寄り下さい。



職員駐車場手前 2019.7.25 撮影



最後の神山幼稚園オペレッタ

記念館 森下裕子



神山幼稚園の慰問は平成21年から今回で11回目、残念ながら神山幼稚園閉園のため今年が最後となりました。かわいらしい園児の皆さんの、オペレッタや歌や手作りのプレゼントに在院者さん患者さん職員、毎回癒され元気をいただきました。多いときは壇上に上がれないほど多くの子どもたちでしたが、今年は8名の園児が来てくれました。今回も「にんじん、だいこん、ごぼう」という絵本のオペレッタや歌を披露してくれました。長い間、慰問に来てもらい沢山の思いやりと笑顔をありがとうございました。



御殿場看護学校在宅実習を終えて

看護部長 杉山美貴子



7月22日、23日の2日間、御殿場看護学校の在宅実習が行われました。3年生の皆さんは、これまで様々な実習を経験しておられますが、人生の最終段階におられる患者さんへの看護については、なかなか深く学ぶ機会が無いようです。そのため、復生病院ではホスピスにおける看護や、元ハンセン病の在院者さんへの看護について、講義をさせて頂いています。学生さんにとっては初めて聴く内容も多く、じっくり考え、心に残る実習となっているようです。実習の最後にはグループ毎の発表があり、指導者が伝えたかった復生病院としての「看護」を、しっかりと受けとめてくれていました。復生病院の実習を経験した後、就職を決めて下さる生徒さんもおられ、指導者冥利に尽きます。これから国試に向けて大変になってきますが、実習で患者さんや指導者さんから学んだことを心に留め、頑張ってください。職員一同応援しています。



令和になって初めての納涼祭！

シスター徳永美智子

1889年に病院が創立されてから今年で130年を迎えました。年号も明治・大正・昭和・平成と移り変わる中、復生病院は大地に足を付けて今日まで、多くの方々のご協力の下に歩んでまいりました。夏の恒例の行事である納涼祭…今年は130年の記念として病院全体で楽しもうと計画し、ホスピス病棟・介護医療院・マリアの家をご利用して下さる皆様やご家族、職員も参加して楽しいひと時を過ごしました。今川焼き・たこ焼き・ボーリング・輪投げは毎年の出し物ですが、今年は、月一回ボランティアをして下さる「お喜楽カフェ」の皆様による「ドリンクサービス」。何が入っているか分からない「お楽しみ魚釣り」もあり、笑いの中に皆さまとても喜んで下さいました。天井からは職員手作りの風鈴やフグやたこの風船が風にゆられて楽しさを応援してくれました。又、地域のご婦人による盆踊りも披露され、車いすの方も手踊りで参加され、大きな祭典ではありませんが、復生らしい納涼祭を楽しみました。



開場入口看板



恒例になった、地元の方々の盆踊り



「さぁ!ストライク!」

療養病棟（医療保険）から介護医療院（介護保険）に転換して、早4ヶ月。スタッフ一同、奮闘中です。お陰さまで7月末で入所者は37名、短期利用者は7名の方が状態に応じてご利用になり、待機者は4名の状況です。

介護保険の施設であるため要介護1～5の方が入所の基準になっています。入所の紹介先としては急性期の病院や包括病床からの紹介がほぼ9割を占めています。残りの1割は施設に入所されているものの、食事摂取の問題や褥瘡の悪化等により、医療の必要性が高まってきた場合の入所となっています。

病院から紹介されて来られる方は、入所前まではご自宅で普通に生活されていた方が多く、入院という大きな環境の変化により歩行困難になったり、昼夜逆転などの認知症状の進行がみられるなど、身体的な病気のみならず、ご自分ではどうにもならない辛い認知症状を抱えておられます。

また、ご本人が独居であったり、配偶者が高齢であること、更には同居家族の都合などで自宅での生活が困難になる等の理由で相談にいられています。

2025年問題（総人口の10人に1人が認知症）は数年前から言われている中で、核家族化は増々進み、独居の高齢者や要介護者、更には介護者自身も認知症という世帯が増えると予測されています。その予測がまさに今、介護医療院では現実的な状況として見られています。

老人保健介護施設では入所期間に期限があり、次に行く所を探さなくてはなりません。特別養護老人ホームは要介護3から入所できますが、待機者が100人を超える所もあり、年単位での待機となります。その間に病気を発症し、医療が必要になると入所できない事もあります。療養病棟と同じように医療サービスが受けられ、最期まで看取ることができる介護医療院の役割は、急性期の病院や包括病床から家に帰ることができなくなった方々の受け皿としては、最適なのかもしれません。

戦後の日本の高度成長期を支えて来られた方々が認知症になり、今までとは違った対応も工夫も勉強していく事が必要になってきたことを実感しています。入所されている方も、利用に繋がらなかった方も、相談に来られる方が、後見人や代理人であったり、遠方に暮らす子供である場合が多く、高齢の配偶者を除いては同居家族の相談が少ない事も事実です。そのような方の相談を受けるたびに厳しい現実を目の当たりにし、出来る限り1人でも多くの方が安心して暮らせる場所を提供していきたいと切に思っています。

今後もスタッフ一同協力し、介護医療院としての機能を増々充実させて、地域に貢献していきたいと願っています。



今回のおすすめ

《かねふく めんたいパーク》

今回は、昨年函南町にオープンした明太子専門のテーマパークを紹介します。施設内には工場・直売店の他フードコート・キッズコーナー（ボルタリング・滑り台）足湯等の設備もあり、大人だけでなく子供の遊び場にもぴったりの施設です。もちろん雨の日でも楽しめます。又パーク限定いちおし商品「できたて生からし明太子」を試食コーナーで楽しむこともできます。（口の中で粒子をしっかりと感じます！）隣接地には道の駅もあるので、近くまで行く際には是非セットで立ち寄ってみてください。

明太子好きの方、小さいお子様のいる方おすすめです。

紹介者（外来）伏見こず枝



外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※ 2月より毎週土曜日の内科外来を行っております。皆様ご利用下さい。

※ 特定健診を行っています。(月曜～金曜)ご希望の方は、受付・外来までご相談下さい。

皮膚科外来予定表

太田 医師	診察日	8 / 3 8 / 24
小川 医師	診察日	8 / 10
石地 医師	診察日	8 / 17
千原 医師	診察日	8 / 31



9月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。

休診や代診の場合があります。

神山復生病院創立 130 年記念 映画会

6月より創立130年記念の映画会が始まりました。
これまで91名の皆様にご覧いただきました。
この機会にと遠路お越しいただいた方も大勢いらっしゃいました。多くの皆様に参加いただき、感謝いたします。
ご覧いただいた方々からは『貴重な映像を見ることができて良かった。』『当時の患者さんの生き生きした姿に感動した。』などのご感想ををいただきました。また、『この DVD を販売してほしい』とか『出張映画会をしてほしい』などのご要望もあり、これから検討していきたいと思っています。
月1回、10月まで行っておりますので多くの皆様にご覧になっていただければ幸いです。(記念館 森下裕子)



映画会今後の予定

8月10日(土)・9月14日(土)
10月12日(土)

午後1時30分から2時30まで

ご都合がつかない方で他の日時をご希望の方は対応可能な場合もありますので記念館までご連絡下さい。

(復生記念館 TEL/FAX0550-87-3509)

編集後記

梅雨が明けたとたん、この暑さ堪りませんね～！！

皆さん熱中症には注意されていると思いますが、注意していてもなる事もあります。かくゆう私、熱中症経験者です。こまめに水分をとっていたつもりでしたが、酷い頭痛と体のほてり、そのうちに吐き気、手も震えてきました。相当苦しかったです。予想以上に汗が出ていたり熱がこもってしまったり。ちょっと変だなと思ったら涼しくしたり冷やしたり、スポーツドリンクを飲んだり、早めの受診もお勧めします。酷くなる前に対処して下さい。本当に苦しいです。

熱中症に注意して健やかにこの夏、お過ごしください。 次号も、お楽しみに～

